

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第65号

工組とデザイン協会の総会開く

健保組合は11月設立をめざす

組合青年部の総会も開く

中小企業白書・技術、情報、人材を強調

全国業界ニュース

労務改善コーナー

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより

岐阜県プラスチック工業組合 第17回通常総会



健保組合設立準備を承認

工組とデザイン協会の総会開く

大松理事長が協力を呼びかける

岐阜県プラスチック工業組合は、5月29日、岐阜市西荘にあるサンピア岐阜で『第17回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第23回総会』を開催した。工業組合の議題は①59年度の事業報告・収支決算②60年度事業計画・収支予算案③任期満了による役員改選④中小企業集団育成事業の実施計画⑤岐阜県プラスチック事業健康保険組合の設立準備—など7議案。このうち役員改選では大松幸栄理事長はじめ全役員を再選、新しく理事二人を追加した。また、健康保険組合の設立は、設立条件の加入者3,000人を上回る同意が得られたため、再度設立準備の承認を得たものである。

60年度予算など 全議案可決する

工業組合の総会は、武藤副理事長の開会あいさつで始り、続いて大松理事長が『最近の経済は、かつてのプラスチック業界が体験したように、好況→即全部の企業が好況というわけにはいかない。好況といっても

多様化、個性化、機能化が一段と進む今日の社会の中では、同じ業界、業種の中でもつねに好不況が混在している。それに従業員の意識の変化、中高年齢化、高賃金などの悪条件が重なり、経営環境は大きく変わりつつあり、経営者は危機感をもって経営に当たらねばならない』と、厳しい経済環境へ対応する心構えを訴えた。

このあと議案審議に入り①59年度の事業報告と総額4,149万円にのぼる59年度決算②11項目にのぼる60年度事業計画と総額4,483万余万円



60年度の事業計画や予算を承認した総会

の収支予算③60年度の賦課金および納入方法について—などを原案どおり可決した。

このうち60年度の事業計画は①講習会、見学会などの指導教育事業②会報の発刊など情報提供事業③希望品目の共同購入④制度融資や設備機器などのリース、あっせん⑤自動車ローン事業⑥事務代行業⑦調査研究、情報の収集⑧保険業務の代理店事業など福利厚生事業⑨中小企業集団育成事業⑩プラスチック事業健康保険組合（仮称）の設立準備—など。

工業組合の新役員が決まる

理事に服部、加藤両氏を追加

任期満了による工組役員の改選は、選考委員による推薦方法で行い、大松理事長はじめ正副理事長、理事、監事を再選、新しく組合青年部会長となった服部昭元氏、岐阜プラスチック協組理事長の加藤雄一氏の二人を新理事に選出した。工組役員の新体制は次の各氏である。

<理事長>

大松幸栄（岐阜プラスチック工業）

<副理事長>

大野繁俊（東海ポリエチ工業所）

武藤昭三（ムトー精工）

児玉庄一（コダマ樹脂工業）

<理事>

田中弘一（田中化学工業所）

納土栄一郎（東和化成）

福西紀雄（天龍工業）

日比正雄（大垣プラスチック工業）

吉田博司（美濃化学工業）

米谷元則（名古屋三光合成樹脂・岐阜工場）

加藤法康（日本工芸）

服部昭元（服部樹脂）

加藤雄一（加藤プラスチック製作所）

<監事>

林光夫（関化成工業）

篠田哲（岐阜技研ポリマー）

健保組合は 11月設立へ 再募集で3千人以上を確保

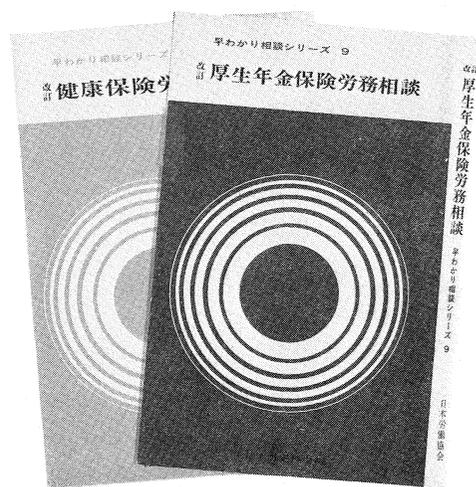
『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』（仮称）の設立準備の議案審議は、今春いらい加入者の再募集をしていたところ、このほど設立条件の3,000人を上回る見通しが得られたことから、健保組合設立への具体的準備に入る承認を求めたものである。

工業組合が中心となって進めてきた健保組合の設立は、当初計画より半年遅れたことになるが、設立準備作業は順調に進んでいる。さる2月には工業組合役員の中から6人を委員に選んで設立準備委員会を発足させ、一方、事務局では設立認可申請のための設立加入同意書（事業者と被保険者となる従業員）や委任状の回収を急いできた。

とくに加入者の再募集に当たっては、工業組合のアウトサイダー62社（プラスチック関連企業を含む）をリストアップし、強力に加入を呼びかけてきた。この結果、総会当日までに3,170人の同意が得られ、他に検討中の人々が270人も

いる。今後、検討中の半数以上の人から同意が得られる見込みから、最終加入者は3,300人以上で設立発足できるメドが立った。

この総会で設立準備への承認が得られたため6月から県保険課の指導のもとに詳細な医療費調査を行い、結果をまって11月設立をめざす。



全組合員に配布した健保労務読本

例会を毎月開くなど事業を強化

組合青年部
も総会開く

新会長には服部昭元氏選ぶ

工業組合青年部は、さる4月20日、宇を徳で新年度総会を開き、昭和60年度事業計画、予算などを決めたあと、三代目の青年部会長に服部昭元氏（前副会長、服部樹脂）を選んだ。

新事業計画は①毎月1回は例会を開く。その月に講習会、研修会、ボウリング大会などの行事がある月は例会をかねて行う②講習会は年間2回ほど、講師を招いて開き、研修の場とする③親組合が実施する補助事業、中小企業集団育成事業に協力、ボウリング大会を分担、実施する④その他、研修をかねた親睦旅行などを行う一を予定している。なお、新年度役員は次の各氏である。

▽会長＝服部昭元（服部樹脂）

▽副会長＝武藤幸平（武藤化成工業所）

佐藤勇雄（岐阜化成）

▽委員＝真鍋宏雄（厚見プラスチック工業）

日比勝次（大垣プラスチック工業）

川瀬忠雄（川瀬樹脂）

▽監査委員＝斉藤豊（斉藤プラスチック工業所）

長谷典雄（信和工業）

労務改善事業の最終年度

国県の補助を得て実施

総会で承認を得た『中小企業集団育成事業』は、3年間継続して実施中の労務改善事業で、60年度は最終の年である。事業内容は次のとおりで、経費は国、県から80万円が補助され、工業組合が同額を負担、総額162万円で実施する。

まず、講習会の開催は、労働社会保険講習会労働経済講習会、健康管理講習会を開催するほか各種講習会へ代表が参加する。

調査事業では労務管理実態調査、視察研修会を実施するほか、担当者を労務改善指導員研修会へ参加させる。

福祉活動の面では、ボウリング大会、レクリエーション旅行を計画。

このほか、会報を通じての労務管理講座や労務改善資料の提供などによって①雇用環境の整備②福祉活動の充実③労働保険、社会保険等の加入促進④雇用管理の向上⑤業務労災の防止一などを改善目標に事業の仕上げを図っていく。

とくに、労務改善事業の一大目標として取り組んできた健保組合が設立へあと一步のところまでこぎつけており、事業の最終年度にふさわしい盛り上げを計画している。

●スタミナ不足の人：速歩やジョギングを少し息切れる位のペースで、一回に10分以上、毎日つづけます。
★ただし無理かなと思ったら一回の時間を短かく、間隔もあけて、徐々にペースを上げるようにします。



県デザイン協会も総会を開く

岐阜県プラスチックデザイン協会は、工業組合の総会に続いて第28回通常総会を開いて、60年度の事業計画と収支予算（総額27万7,403円）を決めた。

事業計画は①講習会②資料配布③研修会④巡回指導一などが主な内容。

近く構造改善計画が公表

プラ成形加工業界が懇談会もつ

プラスチックの圧縮または射出成形加工業はさる昭和56年に中小企業近代化促進法の再指定を受け、成り行きが注目されていたが、近く実態調査が終了し、構造改善計画が公表される。このため中部地方のプラスチック成形加工業界では、計画公表後にとまどいが生じないよう研究懇談会をもつことになった。

これまで近促法の指定業種となったのは、延べ184業種におよび、プラスチック関係ではプラスチックの圧縮または射出成形加工業が昭和39年、フォームスチレン加工業が昭和42年、ポリエチレンフィルムが昭和46年、合成樹脂再生加工業が昭和50年と、合計4業種がそれぞれ指定を受けた。

プラスチックの圧縮または射出成形加工業は56年に再指定を受けていらい、通産省によって

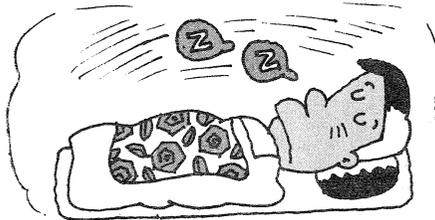
実態調査、続いて構造改善計画が策定準備され近く公表されることになった。懇談会は中部日本プラスチック成形工業会が中心となって進めるもので、とりあえず6月中にも富山、石川、岐阜、三重、愛知5県下の業界団体事務局代表者が集って打ち合わせることになった。

60年度の民生用電気機器生産予想

日本電機工業会は、このほど昭和60年度の電気機器の生産見通しをまとめた。このうちプラスチック需要量の多い民生用電気機器の概要をみると、前年度比4.1%増の2兆96億8,300万円となっている。昭和59年度実績見込みは、前年度比18.6%増の2兆1,034億4,200万円で、59年度が大幅に伸びを示したことから、60年度は大きく伸びを抑えたと見通しとなった。

製品別で伸びが期待できるのは、電気カーペットが額で前年度比の14.6%増、電気掃除機が同13.4%、電気こんろの同12.2%の3製品。

快眠の10カ条



1: 寝室は専用のほうがよい。共用の場合は夜間のカーテンを変えたり、スタンド照明に切換えて寝室としての雰囲気をつくる。

2: 寝室の中や、睡眠時間中は、外からの光や音を自由にさえぎることができるようにする。

5: 心身の緊張をリラックスさせる入浴は、快眠の条件づくりのよい方法。

6: 就寝前に極度な精神緊張はさける。寝る前に議論をしたり、刺激の強いテレビをみるとなかなか眠れない。

7: 就眠時間は決めておくこと。覚醒と睡眠という一日のリズムを乱さない。

8: 就眠時間には、それぞれの方法で「自分は眠る」という自己暗示をかけるのもよい。寝まきに着がえる、家族に「お休み」の挨拶をする、お祈りをする、など各自の生活習慣の中で、よいと思うことを毎晩実行するようにする。

9: 眠ることで思いつめた努力をしない。眠ることを気にしすぎ、数をかぞえたり、本を読むとかえって眠れない。

10: 眠りは向うからやってくる。自分で眠ろうとしないで、体を横たえたら、雑念が起ころって、あれこれ考えずに起ころるにまかせるのが、眠りの上手な待ち方。

3: 睡眠前の食事は腹八分目を目安に。適度な満腹感は快眠のもと。

4: 適度な運動はよい眠りをさそふ。睡眠前の激しい運動はかえって睡眠を妨げる。

公表された中小企業白書 技術、情報、人材を強調

『変革の時代に挑む中小企業の課題』をキャッチフレーズとする85年版・中小企業白書が中小企業庁から公表された。その骨子は、今後、中小企業にとって欠かすことのできない要素は『技術』『情報』『人材』の三つであるとしている。ここでは技術についてとりあげてみた。

特許権少ない中小企業

中小企業の技術水準は、大企業に比べると落ちる。それは中小企業の技術特性が、これまで既存技術の応用・改良にあって、大企業に比べて革新性の低いものが多かったからである。

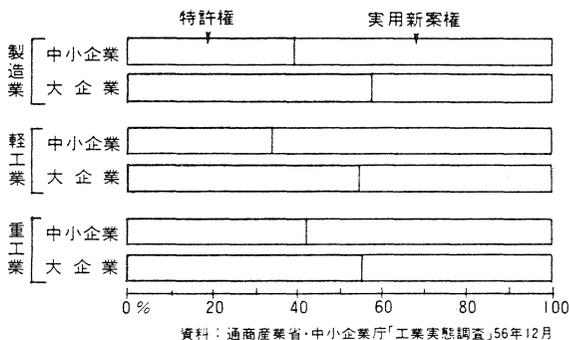
たとえば工業実態基本調査から自己開発した工業所有権の所有状況を見ると、中小企業は、特許権をもっている企業の比率が1.1%、実用新案は1.5%。大企業の場合は、特許権をもつ企業が48.2%、実用新案は48.0%もっており、中小企業に比べて圧倒的に多い。

中小の研究開発部門は半分

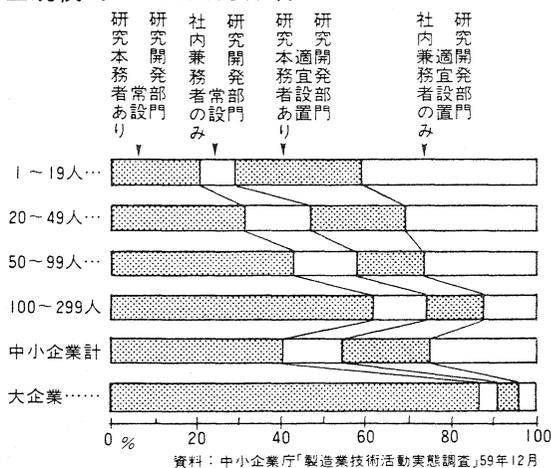
また、上のグラフのように所有している特許権と実用新案権の比率をみると、技術の革新性がより強い特許権の比率が大企業に比べて低くなっている。これは研究開発体制が不十分であるからだ。たとえば、研究開発部門を常設し、研究を本務としている人員をもっている企業は大企業が86%もあるのに対し、中小企業は40.3%と半分以下である。

中小企業は親企業の下請けが多いが、親企業にとっても、中小企業の技術水準に対する不満

■自己開発特許権 実用新案権所有の比率



■規模別の研究開発体制



は強い。それが不良率の高さや、製品信頼度にも響いている。

異業種交流などの活用が必要

こうした格差を打開するためには『中小企業でも独自の技術開発をしなくてはならない。自己の人材育成はもちろんのこと、ベンチャービジネスにみられる外部研究機関との提携や、異業種交流など外部資源の活用が必要である』と白書は結んでいる。

◎エンプラ工業の体制を整備◎

通産省基礎産業局は、新素材産業の育成と並行してエンジニアリング・プラスチック工業の体制整備に乗り出す。エンプラは国が本格的に育成しようとしている新素材と同等の重要性を帯びていることから、エンプラ工業の健全な発展を図りたいとしている。

体制整備のテーマは①業界の共通問題である情報収集、意見調整、業界振興策の推進を積極化するため「エンジニアリング・プラスチック協会（仮称）」を設立する②エンプラ工業の課題および政策のあり方を検討し、長期ビジョンを策定する一など。

◎3社がポリスチで共販体制◎

電気化学、三井東圧化学、新日鉄化学の3社は、ポリスチレンで共販体制をとることで合意し、具体的な検討をはじめた。汎用樹脂のなかでは塩ビ、ポリオレフィンが産構法にもとづく共販体制が確立されているが、ポリスチレンは業界全体の合意が得られなかったため、産構法にもとづく業界ぐるみの共販確立は見送られた。しかし、電気化学、三井東圧化学、新日鉄化学

の3社はHIポリスチレンの製造・販売会社、サンスチレンの設立を機に共販体制をとることにした。

この3社の結果は過当競争に走りがちなポリスチレン業界に一石を投ずることになり、成り行きが注目される。

◎塩ビ共販、値上げ交渉不調◎

塩ビ樹脂の共販4社は、昨年9月に値上げ交渉を『一時凍結』としたが、そのご交渉を再開できないまま日を重ねている。

昨年2月に、4月出荷分から平均10%の引き上げを打ち出していらい、主要製品である塩ビ管が好転しないことが値上げ交渉の足かせになっている。

◎サウジから低ポリエチ輸入◎

三菱油化はサウジアラビア基礎産業公社と米エクソンケミカルの合併会社アル・ジュベール石油化学が生産開始した直鎖状低密度ポリエチレン1,400トン进行初輸入した。

国内メーカー品価格（1キロ約250円）に比べ2～3割安いとみられ、同社は、今回分を含め3,500トンを輸入する計画。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

東急ハンズの生活者への対応

東急ハンズは渋谷店を1978年9月9日にスタートし、年率30%~40%の売り上げ増を記録しながら急成長をなしとげた、いま最も注目を集める小売業態の1つである。

しかし、開店した当時には、すでに日用大工センター、銀座の伊東屋もあり、客もパラパラとしたもので、同業あるいはデザイナーの人達が内容をメモして帰るといった事が目立つ程度であった、と売り場の主任もいっている。

それが、1年後ぐらいから予想を上回る来客数で、現在では1日平均3万人の来店者を記録し、その約6割がモノを買って帰るといふ。

昨年10月には、池袋店もオープンし、現在町田店、藤沢店、二子玉川店、江坂店(大阪)を含め6店舗で、規模的にも第2の展開期を迎えている東急ハンズであるが、もとはといえば東急不動産という全くしろうとの小売店業界への進出として成功した例でもある。

ハンズのコンセプトは、当時すでにDIYという言葉も少しづつ使われはじめたなかで、手の復権、カルチャー、手づくりといったものを

みつめながら、DIY、HI(インテリア)、バラエティー(ファンシーグッズ)の3本柱による「豊かな生活を、手づくりというかたちで行なうための素材や道具を提供するお店」というものであり、ハンズの新しさは、日用大工センターがハウスの修理・修繕を中心としたメンテナンスにあるのに対して、あくまでも生活を創造していくための素材提供といったものがあり「おしつけ」を嫌ういまの生活者にとっては、かっこうの「買い場」になっている。

売り場面積は渋谷店で3,000坪、全体の商品アイテム数は約30万とする店内では、ちょっとやそっとでは目的のパーツを見つけるのは不可能であるが、それも「ショップ・マネージャー・システム」による相談販売型ビジネスによってカバーし、平均27.5歳という若者達で連日にぎわい、しかもその7割が未婚者という状況である。

生活者への対応を「製品」といった形でとりくむ私達にも、若者達のこうした生活づくりへの関心は第2のカルチャーブーム到来さえ感じさせてくれるものであるが、これからの生活財を開発するにあたって、より完成度の高い製品より、むしろ生活を創り出すための素材であるとした見方をいま一度する必要があるのではないだろうか。(工技センター・技術振興部)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目	高密度ポリエチレン
ポリスチレン	ポリプロピレン
低密度ポリエチレン	カルブ®
	ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋支店 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

チームワークで青年部活動展開

有限会社服部樹脂

組合員の工場訪問は、さる4月に工業組合青年部の会長に、また、5月の工業組合総会では理事に選ばれた服部昭元さんを訪ねた。服部さんの工場は、岐阜市から高富街道を北進した高富町赤尾の山沿い。2年前に工場訪問しているから再訪問である。

工場を訪ねてまず感じたのは、事務所が新築されたこと。倉庫や出荷場が継ぎ足し、継ぎ足しになっていたのをまとめ、その一角に2階建ての事務所（約72平方メートル）を設けたもので『これで会社らしくなりました』と服部さんは一息つく。

組合青年部は参加の精神で運営

青年部の会長、続いて理事に就任した感想はと水を向けると『企業を取り巻く環境は厳しくなるばかり。企業規模の大小を問わず、生き残る戦略が必要です。こんな大切な時期に二つの

重要ポストを引き受け、ファイトを感じます』と話す。服部さんは42歳になったばかり。技術というより、営業面で力を発揮するタイプである。それだけに活動的で、青年部の新リーダーとして大いに手腕が期待される所。

今後、取り組むことは『これまでの会長さんは会員の増強に焦点をあててこられた。現在では20人に増えたので、これからはチームワークのとれた青年部活動ができると思う。活動のあり方はいろいろ考えられるが、やはり当面は会員の研修が重点です。それに相互の親睦を図りながら共通の目標を探がし出すことです』と、青年経営者に参加の精神を呼びかける。

ニーズと感性とアイデア生かす

プラスチック加工業界もいまや創業者から、その二世へと世代交代期に入った。青年部会員のメンバーを見ても二世がめだつ。それに、一方では服部さんのような若手創業者の活躍もめざましい。こうした二世や若手経営者が集まり、

組織化したのが青年部である。親組合はその若さと行動力を期待しているのだ。

服部さんは『プラスチック業界はまだまだ伸びる。そのキメ手はニーズをつかみ、感性をこらし、アイデアを生かすこと。それには既存の枠内に閉じこもってはいけません。あらゆる会合に出席し、同業種、異業種の人々と交流、懇談を広めていくこと』と言い切る。

服部さんは下請専業から自社ブランドの商品を生産開始した人だが、その積極性を業界活動に生かしてもらいたい。



青年部会長と工組の理事に就任した服部さん

事務局だより

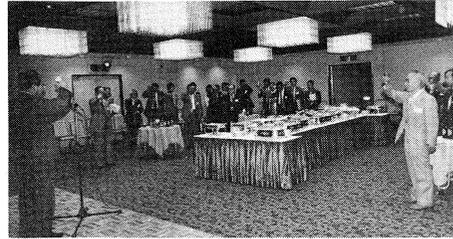
会員と事務局を結ぶページ

□事務局へのご用は留守番電話で…□

60年度の新事業計画や事業予算を決める『第17回通常総会』が、5月29日午前11時からサンピア岐阜で開きました。この席上、念願の『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』（仮称）の設立準備開始について承認を得ました。事務局では設立までのステップとして、近く医療調査など事前調査に入ります。このため事務局は土曜日を除いては留守がちなので、ご用の方々は留守番電話に録音しておいてください。とくに急用の方は夜間に0582-31-0461（篠田宅）まで電話ください。

□工組の青年部に加入してください□

58年1月に工業組合青年部を設立して、3年目の活動に入りました。よく「三ツ子の魂百まで」といわれますが、今年は青年部の基礎固めの年だといえます。岐阜県下には1千近い組合がありますが、工組青年部は62番目に誕生したものです。事業は、総会記事や部会長の工場訪問の記事で紹介しましたように、親組合の事業を分担するほか、会員研修と相互の親睦を深め



総会後のパーティー

ることが主な活動目標です。会員も創立時の14人から20人へと増えています。次代の業界を担う若手経営者、二世の方々、参加してください。また、会員候補者をご紹介ください。

□共同購入の希望商品名を聞かせて□

工業組合では、会員企業に必要な商品や機器の一括購入やあつ旋を常時行っています。対象となる新商品や新機器についてのご希望を聞かせてください。

岐阜県のプラスチック 1985 65号

昭和60年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



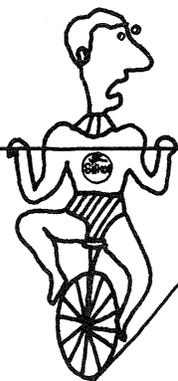
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、築業のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業効率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

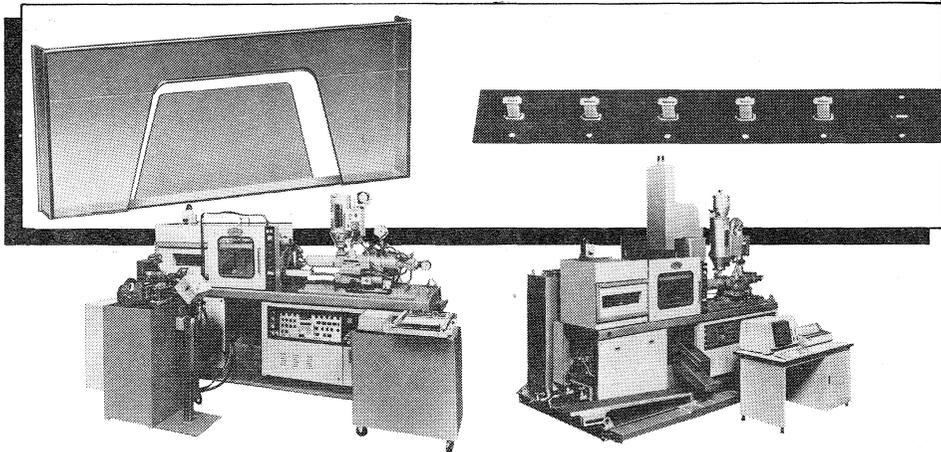
信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

射出成形を知り尽くした多角的な高度技術
だから出逢えます。求めていた成形技術が...

射 言 予 の 術 技



実用的なシステム成形の先取り

手軽なミニFMS、また成形機のMC化など
用途に応じたシステム成形で話題を集めております。
金型交換から成形、そして後加工、さらには搬送システムの簡便化など
経済的、合理的な生産ラインを実現します。

NISSEI 精密射出成形機・世界のトップメーカー 日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野県 飯塚町 電話(0268) 82-3000(大代表)
営業所・東京 浜松(03) 357-7541(代表) 大阪(06) 693-7881(代表)
・名古屋(052) 732-0261(代表) 長野(0268) 82-3000(代表)
出張所・全国34ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所(21ヶ国)
岐阜出張所・〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷 3-40番ビル ☎(0582) 72-5352

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂
NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂
NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂
NOVADUR
ノバドワール

中低圧ポリエチレン
ポリエチレン **NOVATEC**

高圧ポリエチレン
NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

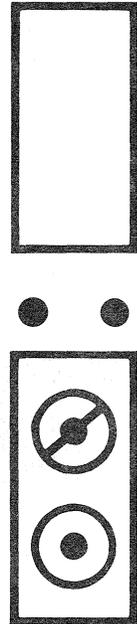
取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をフリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新11本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6386
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、
その名にふさわしいテーブルウェア
として、リスの一貫したデザインポリ
シーから生まれたメタクリル樹脂の最
高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮